

新バージョン 簡単操作で、いつでも安心・安全なメールを送信

「CipherCraft®/Mail」に、さらに簡単パスワード暗号とセキュリティポリシー統制機能を搭載！

NTTソフトウェアは、メール暗号化とメール誤送信防止を同時に実現した「CipherCraft/Mail (サイファークラフト/メール)」に新機能として「簡単パスワード暗号機能」(パスワードによるメール暗号化機能)、「セキュリティポリシー統制機能」(送信メールの暗号化方法や誤送信チェックポリシーを全社で統一できる機能)を追加し、10月1日より販売を開始しました。

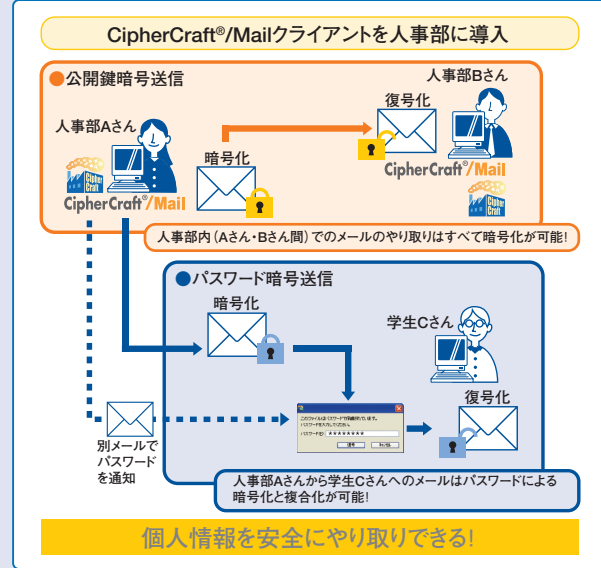
「CipherCraft/Mail」は、メールソフトに依存しない暗号メールソフトウェアで、メール送受信のセキュリティ向上を目的とし、公開鍵方式をベースとしたセキュリティレベルの高い製品でしたが、このたび「簡単パスワード暗号機能」を新たに搭載したことで、送信するユーザーが従来からの公開鍵による暗号とパスワードによる暗号の2種類から選択することが可能になります。「簡単パスワード暗号機能」は、相手側が「CipherCraft/Mail」を導入していなくても、パスワードにより暗号化したメールを相手側に送信でき、またパスワードを自動的に別メールとして通知する機能を備えています。

「簡単パスワード暗号機能」により、不特定多数の相手へ、暗号化したメールの送信が行えるようになり、BtoCサービスへの適用など、安心・安全なメール送信の利用シーンが広がります。またBtoBなど、より重要な情報の取扱いが必要な場合は、メール受信側にも「CipherCraft/Mail」を導入することで、従来通り、より強固な暗号メール通信も可能です。

もうひとつの追加機能は「セキュリティポリシー統制機能」で、従来から搭載していた個別ユーザーごとで設定するポリシーを全社で簡単に統一できるものです。メール送信に関して送信メールの暗号化方法や誤送信チェックポリシーなど従来以上の項目が全社で統一することが容易になります。今回の機能を使うことで「CipherCraft/Mail」の各種設定をサーバーから取得し、個別での設定変更を防止できます。これにより、メール送信に関する企業の情報セキュリティレベルを一定の水準に維持することができ、暗号メールの社内導入を容易化します。

お問い合わせ先：
NTTソフトウェア株式会社 第二営業部ソリューション営業部門 TEL(03)5782-7261
ニュースリリース詳細：http://www.ntts.co.jp/whatsnew/2006nr/060913_NR.html
CipherCraft/Mail詳細：<http://www.ntts.co.jp/products/ccraftmail/>

導入イメージ



新商品 電子メールの一括保存と検索で、日本版SOX法対策を支援

「SAVVY®/MailRetriever for NetDetector」販売開始

NTTソフトウェアは、独自のメール取得方式を用いて電子メールの一括保存と検索を実現したメールアーカイブソリューション「SAVVY/MailRetriever for NetDetector (サビー/メールリトリバー フォー ネットディテクター)」を、10月10日(火)より販売開始しました。

電子メールが企業インフラとなった結果、「情報漏えい的手段」と「監査対象情報の運搬」という2つの危険性がクローズアップされ、企業に対して対策が求められるようになりました。すでにNTTソフトウェアでは、メール暗号化と誤送信防止を同時に実現し、さらにパスワード暗号機能を搭載した暗号ソフトウェアの販売を行っています。今回さらに、この2つの危険性への対策およびその法的根拠である個人情報保護法と日本版SOX法対策として、長期間のメールの保存/保存メールから対象メールの検索を実現し、過去のメールログ調査などに有効な新しいメール対策ソリューションを提供することになりました。

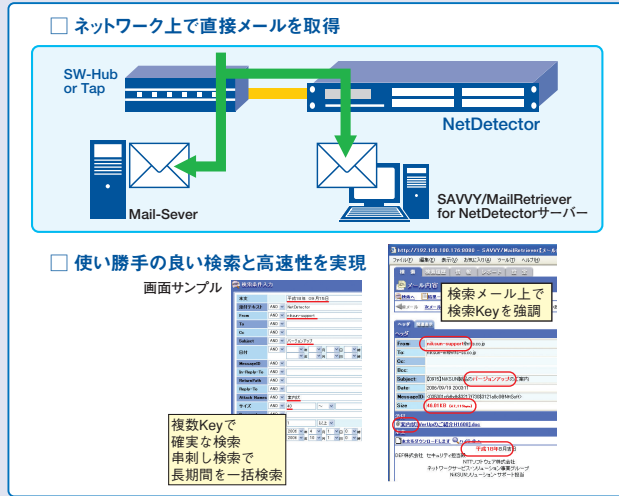
「SAVVY/MailRetriever for NetDetector」は、「電子メールの一括保存と監査」を実現したソリューションであり、一千万通を超えるような膨大な量の電子メールをセキュアでコンパクトに保存できます。また、現在お使いのネットワークやメール環境に依存しないため、メールサーバーの追加や既存メールサーバーの設定変更も一切不要です。

「SAVVY/MailRetriever for NetDetector」は、ネットワークフォレンジックサーバー製品の「NetDetector」(*1)と、全文検索エンジン搭載のメールアーカイブソフトウェア製品の「SAVVY/MailRetriever」(*2)に、NTTソフトウェアの連携アドオンソフトを組み合わせたメールアーカイブソリューションです。この組み合わせで「フォレンジック(法的な)対策」と「メールアーカイブ(保存・検索)対策」を同時に実現した統合ログソリューションです。

(*1)「NetDetector」は、米国NIKSUN社で開発され、多くの国で利用されています。日本国内では住商情報システム株式会社が1次代理店となっています。
(*2)「SAVVY/MailRetriever」は、ジップインフォブリッジ株式会社で開発された製品です。日本語ドキュメント管理で長期の実績がある「SAVVY」の技術をベースにしています。

お問い合わせ先：
NTTソフトウェア株式会社 ネットワーク・サービス事業グループ NIKSUNソリューション担当 TEL 0120-208-284
ニュースリリース詳細：http://www.ntts.co.jp/whatsnew/2006nr/060929_NR.html
NetDetector2005詳細：<http://www.ntts.co.jp/products/niksun/detail/detector.html>

構成イメージ



新バージョン 簡単操作で重要文書ファイル、フォルダの情報漏えいを防止

「CipherCraft®/File」機能強化版販売開始

NTTソフトウェアは、公開鍵方式暗号とパスワード暗号の両方でファイル、フォルダの暗号化が可能となった「CipherCraft/File2.0 (サイファークラフト/ファイル)」を10月1日より販売開始しました。

「CipherCraft/File2.0」は、従来、販売していた公開鍵方式暗号製品の「CipherCraft/File」とパスワード暗号製品の「CipherCraft/File Lite」を統合し、さらに操作性を高めたファイル暗号化ソフトウェアです。

個人情報や重要な機密文書など高いセキュリティが求められるファイル、フォルダを「CipherCraft/File」の公開鍵方式で暗号化することで、復号できる相手を指定し、許可されたユーザー間のみで、より強固で安全な重要ファイルの流通が行えます。また、最近では紛失による情報漏えい事故などを懸念して、利用が減少しているUSBメモリやCD-ROMなどの外部記憶媒体に重要情報データをコピーしても、第三者への情報漏えいを防ぎ安全に持ち運ぶことができ、本来の外部記憶媒体の利点を活かした便利で手軽な利用が可能となります。

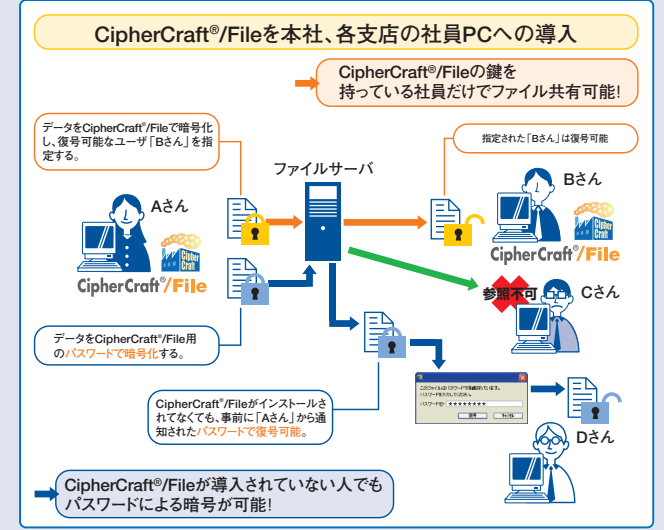
今回、暗号化を行うと同時に圧縮もできるようになったことから、安全かつ効率的な暗号化が行えます。

「CipherCraft/File」は、一般の圧縮・解凍ソフトウェアと同じ感覚で、現在使用しているPC環境に追加インストールするだけで簡単に利用できます。暗号操作は、暗号化したいファイルやフォルダを選択し、右クリックのメニューから暗号化を選択することで容易に行えます。

今回の統合で、相手側に復号のための特別なソフトウェアを必要としない自己復号型のパスワード暗号も可能となり、暗号化を公開鍵暗号で行うか、パスワード暗号とするかを受け取り側の環境やセキュリティレベルに合わせて柔軟に選択、ご利用いただけるようになります。

お問い合わせ先：
NTTソフトウェア株式会社 第二営業部ソリューション営業部門 TEL(03)5782-7261
ニュースリリース詳細：http://www.ntts.co.jp/whatsnew/2006nr/060927_NR.html
CipherCraft/File詳細：<http://www.ntts.co.jp/products/ccraftfile/>

導入イメージ



新商品 1つのIDで認証連携！ Webビジネスが安全に“つながる”、“ひろがる”

シングルサインオン製品「TrustBind/Federation Manager」販売

NTTソフトウェアは、複数のWebサイト上のアカウント情報を連携することにより、一度の認証ですべてのWebサイトにアクセスできることを可能としたシングルサインオン製品「TrustBind/Federation Manager (トラストバインド/フェデレーションマネージャ)」を11月1日より販売開始しました。

「TrustBind/Federation Manager」は、SAML2.0®に準拠した国産のソフトウェア製品で、Webサイトのビジネス利用を効率よく安全に実現するシングルサインオン製品です。

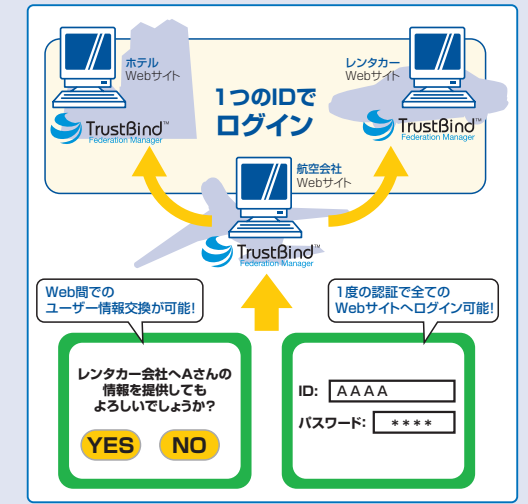
通常、認証が必要なサービスでは、サービスごとにユーザー登録、認証が要求され、登録時にID/パスワードが払い出されます。それを用いて認証を行う際に、エンドユーザーはWebサイトごとに個々に認証要求されますが、本製品を導入したWebサイト間では、一度の認証手続きですべてのWebサイトにアクセスできるようになります。また、ICカードや指紋認証などのさまざまな認証方式にも対応でき、既存資産の活用による導入コスト削減や導入期間の短縮も実現します。さらに、ユーザーの属性情報(年齢や会員制サイトのポイント情報など)をサイト間で相互に安全に交換することも可能としており、サービスを利用するユーザーの利便性をさらに向上することができます。

たとえば、航空会社と提携しているホテルとレンタカー会社があり、これらすべてのWebサイトに認証が必要だったとします。「TrustBind/Federation Manager」を導入すると、利用者が旅行の予約をしたい場合、一度航空会社のサイトに認証が許可されると、航空会社サイトからリンクされているレンタカー会社やホテルに再度認証要求されずにアクセスでき、本人としてサービスを受けることが可能になります。つまり航空会社に登録した個人情報を安全にレンタカーサイトに渡し、連携された情報で個人情報を登録せずにレンタカーの予約が行えるというものです。

本システムは、主に大手ポータルサイトやそれと連携するパートナーサイト、金融機関、公共機関などを主なターゲットにしています。

※SAML2.0 (Security Assertion Markup Language 2.0) インターネット上で、個人認証や個人属性情報管理を実施するためのフレームワークを定める仕様。標準化団体である「OASIS」により、2005年3月に策定されました。SAML2.0に準拠したシングルサインオンでは、各Webサイトは必要な最小限の情報だけを共有し、IDやパスワードなどのクリティカルな情報は相互に秘密を保ちます。これにより、情報漏えいや不正利用などのリスクを心配することなく、安心してシングルサインオンの利点のみを享受できます。また、SAML2.0に準拠したWebサイト同士では、簡単な設定だけでシングルサインオンやユーザー情報交換を利用することができます。そのWebサイトがどのようなソフトウェア製品で構築されているかは問いません。したがって、「TrustBind/Federation Manager」は他社SAML2.0準拠製品とのシングルサインオンやユーザー情報交換を実現することができます。

構成イメージ



お問い合わせ先：
NTTソフトウェア株式会社 第二営業部ソリューション営業部門 TEL(03)5782-7261
ニュースリリース詳細：http://www.ntts.co.jp/whatsnew/2006nr/061010_NR.html
TrustBind/Federation Manager詳細：<http://www.ntts.co.jp/products/trustbind/>